

# 3月14日(月)より、平成23年度の国民健康保険証の切り替えがはじまります。

8期の納付期限(2月28日)までに国民健康保険税を全て支払った世帯には、新しい保険証をご自宅に郵送いたします(手続きは不要です)。新しい保険証は3月中には届く予定です。ただし、マル遠・マル学の保険証は、窓口での受け取りとなります。

## ～切り替え手続きについて～

3月1日の時点で、保険税の未納がある世帯は、窓口での切り替えが必要です

- ★切り替え場所：西原町役場 福祉部健康推進課窓口
- ★期 間：3月14日(月)～31日(木)(土・日・祝日を除く)
- ★受付時間：午前9時～午後4時(正午～午後1時のお昼休みを除く)
- ★持参するもの：①今お持ちの国民健康保険証  
②本人確認ができるもの(免許証、パスポート等)  
③切り替えのお知らせのハガキ  
④マル遠、マル学の場合は在園証明書・在学証明書  
⑤国保税を支払って2週間以内であればその領収証

銀行窓口等から役場に支払いの情報が届くまでに時間がかかるため、支払い確認に必要です。

別世帯の方が代理で手続きする場合、上記①～⑤のほか、代理人の身分確認ができるものをお持ちください。  
※平成22年7月1日より制度が改正され、滞納世帯に対して「高校生世代以下の子ども」についてのみ、6ヶ月以上の「短期被保険者証」を交付することになりました。3月31日期限の保険証をお持ちの方は切替時に更新を行っています。

平成23年度の所得申告してない方⇒税務課で申告を済ませてから切り替えをしてください。

## 《70歳～74歳の方へ》(平成23年4月から)

70歳から74歳の方の病院での窓口負担割合は、凍結措置により平成23年3月末まで1割に据え置かれ、平成23年4月から2割(現役並み所得者は3割のまま)に変更することになっていましたが、凍結措置が1年間延長されました。これにより、平成23年4月からも引き続き1割負担(現役並み所得者は3割負担)になります。

※現在1割負担の方には、3月中旬頃に新しい高齢受給者証を郵送いたします。旧証は各自で破棄するようお願いいたします。

## ☆退職後に国民健康保険へ加入予定の方☆

退職後に国民健康保険へ加入をする方は、下記のものを持参して窓口で手続きをしてください。

- ① 社会保険等喪失証明書(勤めていた会社か、社会保険事務所等からの証明)
- ② 年金証書(年金を受給されている方のみ)
- ③ 印鑑(認印)
- ④ 国民健康保険証(家族の中ですでに国民健康保険に加入している方がいる場合のみ)

\*なお、勤めていた会社の健康保険等に引き続き加入できる(任意継続被保険者)方もいますので、詳しくは福祉部健康推進課か、勤めていた会社へお問い合わせください。

国民健康保険へ加入される方は退職された日の翌日から14日以内に手続きをしてください。手続きが遅れた場合、その間の病院受診支払いが全額自己負担になることがあります。

お問い合わせ／福祉部健康推進課 国民健康保険係 ☎ 945-4791(内153～155)

## 成人の第1歩、大人に羽ばたけ!

平成23年はばたき成人式(町社会福祉協議会・サポートセンターはばたき主催)が1月21日、町社会福祉センター研修室で開催されました。この日成人を祝ったのは小橋川ひかるさん。同センターの利用者が成人式を迎えるのは3年ぶりのことで、利用者や関係者が出席し、小橋川さんの門出を祝いました。小橋川さんは平成22年4月、同センターに入所。今では責任ある工程を任せられています。町社会福祉協議会の新川善昭会長が「これから楽しいこともつらいこといっぱいあるでしょうが、まわりのみなさんと協力してがんばってください」と激励しました。



## 東部消防で新春を飾る出初式

東部消防組合(管理者城間俊安)は、新年を迎えるにあたって、1月6日に恒例の消防出初式を行いました。式の冒頭、特別点検では整然と並んだ東部消防の職員と消防団員が力強く点呼を取り、会場に緊張感がたどりました。また一斉放水と救助の訓練が披露され、「今年も職員、団員が協力して、管内町民の生命、財産を守るため一生懸命頑張ります」と参加者に向けてPRしていました。また今年は西原町在住の4名の女性消防団員が初めて出初式に参加、責任ある職務に緊張の表情を浮かべていました。



【動画】町HP「さわふじチャンネル」で公開中

## 文教のまちの集大成「西原町教育の日」が開催

### —「尚円王の生い立ちと内間御殿」講演—

教育に対する意識と関心を高めることを目指し「名実ともに文教のまち西原を目指して!」をテーマに掲げた「平成22年度西原町教育の日」が2月5日、開催されました。

午前は町立の各小中学校で授業参観が行われ、多くの保護者が訪れました。そのうち西原東小では、キャリア教育の一環としてさまざまな職種の方が自分の仕事を子どもたちに語る「きらりスクール」を開催。16種類の授業が展開され、どうやったらその仕事に就けるか、どんな勉強をしたらいいのか、仕事の内容やお給料のことなど、普段の授業ではなかなか聞けない話に、児童らは夢中で耳を傾けていました。



講演した高良倉吉教授

午後は西原中学校で全体会が催され、約400名が来場しました。実践発表では西原幼稚園、西原中、棚原子ども会の取り組みを紹介。平成21年に立ち上がった棚原子ども会の発表では「保護者は仕事で、子どもたちは塾や習い事があり、なかなか人が揃わないが、できる人でカバーしあって活動している。自治会や老人会の支援が大きい」と地域が一体となった実践を紹介しました。

教育講演会では高良倉吉琉球大学教授を講師に招き、「尚円王の生い立ちと内間御殿」というテーマで講演が行われました。「国の文化財に指定される内間御殿が、いかに歴史的に大切な文化財であるかを西原のみなさんに知ってもらいたい」と話す高良教授が、金丸(後の尚円王)の歩んできた歴史と、内間御殿との関係などを分かりやすく説明。「内間御殿の歴史は、琉球史の節目となった歴史とともにある」と話し、「文化財指定に伴い、学術的な調査で多くの発見があることを期待している。首里城との関連で多くの人に知ってもらうことで、西原町を豊かにしていくことにつながるだろう」と今後の展開に期待を寄せました。

その後、町青少年健全育成表彰と教育実践賞の表彰が行われました。

